

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	総合支援センターわかば		
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日		～ 令和6年12月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和6年4月1日		～ 令和6年12月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和6年4月1日		～ 令和6年12月1日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援の中で、WISC4・MSPAといった発達検査ができるようになったこと。	結果や数値だけでなく、具体的な支援の工夫の仕方や、学校・園生活・家庭生活の中で取り入れられる支援の工夫をできるだけ具体的にお話している	検査実施件数が多くなることで、発達のレベルや、より具体的な支援の方法を蓄積していく
2	地域の各機関(相談支援・療育事業所・通園事業所)と運動することによって、支援につながりやすくしている。	各園の特徴(強み)をしっかりと伝える。 子ども自身の特性や相性についても相談にのる	定期的に、できるところは情報共有や、その情報のアップデートを図る
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人的資源に限られており、対応できる児童に限りがある。あるいは時間がかかってしまう。	従事できる職員が限定されすぎている。	今後、研修やOJTを行い、発達検査や一般相談に対応できる職員を養成し、従事できる職員を増やしていく。
2			
3			